

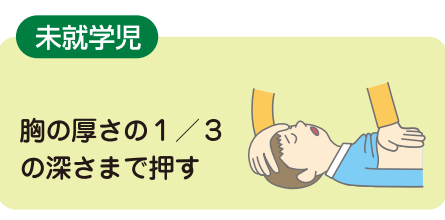
AEDが到着するまで

1 反応の確認 → 助けを呼ぶ
(119番通報、AED運搬)



2 胸骨圧迫

正常な呼吸が認められない場合は、ただちに胸の真ん中を「強く」「速く(少なくとも100回/分)」「絶え間なく」押します。



※できる方は人工呼吸も 気道を確認 ▶ 胸骨圧迫30回につき2回のペースで息を吹き込む

AEDが到着するまで 2 を続けます

AEDが到着したら

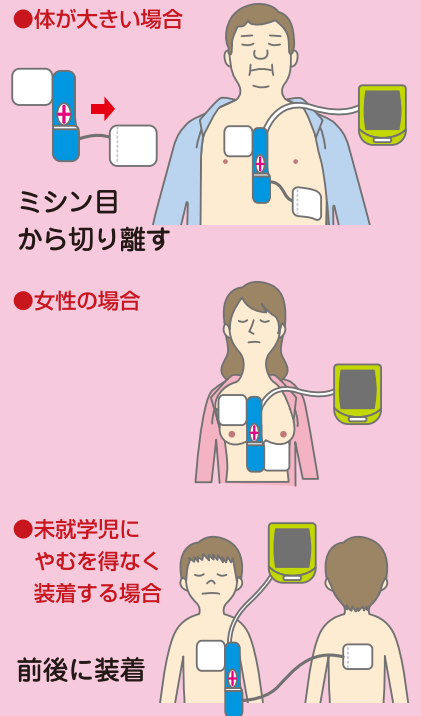
3 電源ON



4 パズ装着



特殊な成人用パズ装着例



5 電気ショック

ショックの要否は音声案内に従う



6 胸骨圧迫

CPR センサ部を押す。音声案内に従う(5cm以上、100回/分に誘導します)。



未就学児の場合は、AEDの音声案内にかかわらず、胸の厚みの1/3の深さまで押します。

※できる方は人工呼吸も 気道を確認 ▶ 胸骨圧迫30回につき2回のペースで息を吹き込む



ZOLL® AED PLUS™ 医療機器承認番号: 22200BZ100015000

ご使用のポイント

(成人用パッド CPR-D・padz 接続時)

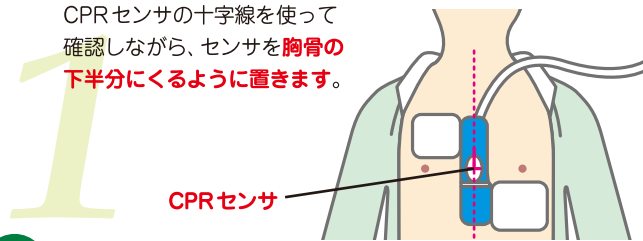
⚠ ZOLL AED Plus 使用時の注意点

- 未就学児への成人用パッドの使用は、小児用パッドが近くに無いなど、やむを得ない場合に限ってください。その際は、音声案内にかかわらず、胸骨圧迫の適切な深さは胸の厚みの約1/3です。
- 小児用パッド(pedi・padz II)を使用する場合、胸骨圧迫の深さ、速さは測定されません。
- 成人用パッド(CPR-D・padz)は傷病者の身体の大きさに応じてCPRセンサ部から切り離して使用できます。その際は、2枚のパッドが触れ合わないようご注意ください。

ポイント1 一体型電極パッドでスムーズな装着！

1 CPRセンサで位置決め

CPRセンサの十字線を使って確認しながら、センサを胸骨の下半分にくるように置きます。



2 電極パッドの装着

CPRセンサを手で押さえながら、タブを引っ張り、電極パッドから保護紙を剥がします。電極パッドを中央から外側に向かって押さえ、傷病者の皮膚にしっかりと接着します。



3 電気ショック後の胸骨圧迫

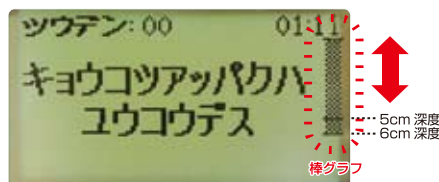
電気ショック後、直ちに胸骨圧迫を行います。その際、CPRセンサ部を胸骨圧迫位置とします。



ポイント2 音声とメッセージで心肺蘇生をサポート！

1 胸骨圧迫深度インジケータ

胸骨圧迫の深さ5cm～6cmが目盛り表示され、実際の圧迫の深さが棒グラフで表示されます。これで圧迫深度が適切であるかわかります。



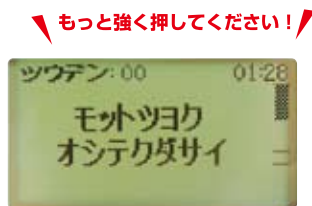
2 胸骨圧迫リズム音

胸骨圧迫時に発するリズム音により、100回/分の圧迫速度に誘導します。



3 音声案内・メッセージ表示

「もっと強く押して下さい!」
「胸骨圧迫は有効です!」などの音声案内とメッセージ表示があり、適切な胸骨圧迫をサポートします。



【選任製造販売業者】

旭化成ゾールメディカル株式会社

0800-222-0889 (旭化成AEDコールセンター)

〒105-0003 東京都港区西新橋2-1-1 興和西新橋ビル
tel.03-6205-4544 fax.03-6205-4923

一般的名称：非医療従事者向け自動除細動器
販売名：ZOLL AED Plus 半自動除細動器
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器

【外国特例承認取得者】

ZOLL Medical Corporation (アメリカ)

F004-05-1303-05